室蘭の魅力を再考、再興、最高に楽しむ方法を探る

NHK室蘭放送局女性キャスターによる座談会

最近「縁結びの白鳥大橋」や「やきとり丼」などが
テレビや新聞で広く紹介され、注目が集まる室蘭。
室蘭のニュースや情報を発信している
ＮＨＫ室蘭放送局の女性キャスターに、
室蘭への思いや要望、魅力などを語っていただきました。

もっともっと伝えたいことがある
室蘭発の情報発信

室蘭の印象は、何と言っても自然豊かな港まち

掛橋　室蘭から青森にフェリーを利用して旅行したことがあります。室蘭は港まちというイメージでした。夜の測量山ライトアップを見て、とてもきれいで感動しました。家の近くに漁港があるので、船の汽笛の音で毎朝、さわやかに目が覚めます。出身地の札幌から家族や友達が来ると、「室蘭は空気がきれいで静かなまちね」と言ってくれます。

相澤　私は宮城県出身なので、住んでみると、室蘭というより北海道全体の印象が強く、なにかと広くて、郊外へ出かけるにも、マイカーを持っていないと不便という感じです。室蘭はと言うと、私も以前、フェリーを利用した旅行で室蘭に来たことがあり、自然が豊かなまちという印象です。

涌井　私は苫小牧市で生まれ育ち、祖父母が室蘭に住んでいます。苫小牧にも港まつりはありますが、室蘭の港まつりに何度か家族で来て、花火大会を見ています。

　皆さんと同じかも知れませんが、自然豊かで、ゆったりしたまちですね。

奥村　私は隣の伊達市で生まれ育ったので、室蘭はとても身近なまちなんです。伊達市と比べると官庁やデパートなどビルがたくさんあり、小さいころから都会というイメージでした。

　また、室蘭には工業大学と文化女子大学室蘭短期大学の2つの大学があり、3千人ほどの学生がいるのに、街中で若者を見かける機会は少ないように感じています。

掛橋　私もそう思います。以前、室蘭に転勤してきた人を取材したとき、室蘭には人と出会うきっかけを作る場や気分転換できるような施設が少ないのではと言っていたのを思い出します。

天然の良港と自然が共存する室蘭

点在する商業施設がまとまればもっと便利になる

掛橋　まず、室蘭は海に囲まれ沢が多いという地形的な制約があります。そのため、映画を見たり、衣服を買ったり、食事をしたりするお店が市内のあちこちに点在していて、不便だという声があります。

見どころオンリーワン ナイスな室蘭を紹介

地球岬

アイヌ語の「ポロ・チケップ」(親である断崖)から地球岬となる。昭和60年に北海道の自然100選で得票第1位となり、全国区の知名度に。初日の出の名所。

室蘭港

明治5年開港の天然の良港。昭和40年に特定重要港湾になる。青森・八戸・直江津を結ぶフェリー航路は市民の宝。客船も数多く入港し、10月7日にはダイヤモンドプリンセスが崎守ふ頭に入港する。

涌井（わくい） はるかさん
苫小牧市生まれ

注目を集めているやきとり丼。まちの食文化の活用に市民の期待を感じます。

奥村　伊達は、市役所前通りを中心にお店が集まっていて、歩いていける距離で色んな買い物ができて楽しいですよ。

涌井　ほかのまちと比べると、確かに、室蘭は不便かも知れませんね。でも、最近、祝津地区にできた「むろらん温泉ゆらら」は、パークゴルフ場が近くにあり、パークゴルフで汗をかいた後、お風呂に入って、それから屋台村で食事をするというように、みんなで一緒に楽しめるスポットになったと思いますよ。そこで提案なんですが、パークゴルフと温泉をセットにしたパック券を出してみてはどうでしょうか。

　また、弥生ショッピングセンターも食料品を扱うお店や日用雑貨を扱うお店、レストランなど異業種のお店が集まり、相乗効果を高め、集客力をアップしていると思います。

相澤　不便といえば、室蘭は若者向けのファッション関係のお店が少ない気がします。

掛橋　ファッショナブルなお店が少ないから、室蘭で服を買おうという気にならないのかな。

奥村　私も手軽な買い物は室蘭で済ますけど、服を買う時は、やっぱり札幌に行っちゃいます。

相澤　初めは、室蘭の人は2時間近くかけて札幌まで買い物に行くと聞いた時は、びっくりしましたが、やっぱり、宮城県と北海道の人とは、距離や時間の感覚が違うのでしょうか。

まちの情報を待っているのは若者だけではない

相澤　私は初めての室蘭暮らしなので、まず、人が集まるサークルに参加して友達をつくろうと行動しました。でも、インターネットで探したんですけど、面白いサークル情報がなかなか見つけられませんでした。室蘭に初めて住む人は、若者が集まるまちの団体やサークル情報を知りたいはずです。もっと必要な情報を

18ホールのコースは橋を望む絶景のロケーション。風力発電を利用したナイター設備を完備。10月末まで、7時から21時まで（火曜日は12時から）開設。大人300円、65歳以上200円、高校生以下100円で回数券もあります。用具の貸し出しもしています。

白鳥大橋周辺（祝津地区）

白鳥大橋のたもとに温泉がオープン。ロケーションが抜群の新たな憩いの場となっている。

親水護岸が子供たちに人気。灯台、鯨などの形をした水飲み場やフェンスなどが青い海にマッチしている。大黒島を望む夕日も美しい。

もっともっと伝えたいことがある 室蘭発の情報発信

相澤　静さん
宮城県涌谷町生まれ

初めての室蘭暮らしでは、ふれあう場の情報提供がもっとあってもいいと感じています。

新たな室蘭の味として注目を集めているやきとり丼

広く発信して欲しいと思いました。

奥村　全国的に有名な断崖絶壁の地球岬は、母恋などの町に、ものすごく近くてびっくりします。地球岬のように、室蘭のオンリーワンを、様々な視点から捉え、情報発信することが大切では。

掛橋　イルカ・鯨ウオッチングも北海道では室蘭でしか楽しめません。でも、テレビで紹介するまで参加者が少なかったと聞いて驚きました。「いぶりdayひだか」の中で取り上げPRしたところ、大勢の皆さんが応募してくれて、本当にうれしかったですね。

涌井　やきとり丼も話題になりました。フェリーふ頭のレストランでも新メニューに「やきとり重」を加えました。番組で紹介した翌日に、レストランに食べに行ったところ、売り切れになっていました。皆さんの関心の高さを知ることができました。改めて、情報発信の大切さを実感。このまちには魅力的なまちの情報はまだたくさんあると思う。的確に、タイミングを見て、情報発信すれば、人々が動き、まちも活性化するのではないでしょうか。

新鮮な食材とまちを彩る室蘭オンリーワンのPRを

涌井　すてきな場所がいろいろありますが、私は室蘭港を第一に挙げます。普段の生活の中では、なかなか実感しませんが、4月にサファイア・プリンセスが入港しました。10万トン以上の豪華客船が入港すると、

イルカ・鯨ウオッチング

カマイルカ、ミンククジラなどと出会うことができる。国内有数のウオッチングポイント。道内では室蘭だけ。8月まで開催。詳細はＫＫエルム（☎㉗1822）

室蘭岳

市街地に近く、1時間程度で登れる標高911メートルの山。登山者は年間2万人を超え、身近な山として親しまれている。

奥村（おくむら） 朋子（ともこ）さん
伊達市生まれ

室蘭の美しい夜景は、積極的なPR活動によって観光資源になると思います。

やはり室蘭港は、外国に開かれた大きな港だと実感しています。

また、室蘭は坂が多くて、そこから見下ろす港の景色も風情があっていいですね。

掛橋　名探偵コナンの「銀翼の奇術師（マジシャン）」で、崎守ふ頭が飛行機の着陸場として、映画のラスト30分に使われていました。室蘭は港のまちであり、ライトアップされた白鳥大橋がスクリーン一杯に映し出された時は本当に感動しました。

相澤　私は白鳥湾展望台から眺める白鳥大橋の夜景が大好きです。また、測量山から見下ろす夜景も含め、室蘭は他のまちと比べても決して引けをとりません。

奥村　夜景を楽しみながら食事ができるお店が増えればいいですね。

きれいな夜景は大切な観光資源です。室蘭の夜景スポットを道内外にもっとPRすれば、みんな行ってみようと思うはず。

掛橋　室蘭の豊かな自然も魅力です。昨年、室蘭岳に登りました。夏道コースや西尾根コースなどがあり、毎日登っている人もいると聞きました。

年間2万人が登る、本当に市民に身近な山なんですよね。

涌井　近くの山でも、春には、タラの芽やウド、竹の子などの山菜が取れるんです。

採りたての山菜を新鮮なうちに調理して食べるのは幸せだと感じます。

相澤　漁港や中央卸売市場もあるので、カレイやアブラコ、ウニ、ホタテ、コンブなど海産物も新鮮ですよね。

身近に海や山がある室蘭は
新鮮な魚介類と山菜の宝庫

白鳥大橋

平成10年6月13日に開通した、東日本最大のつり橋。
ライトアップされた夜景は、祝津公園、潮見公園、八丁平、
白鳥湾展望台などのビューポイントで楽しめます。

もっともっと伝えたいことがある 室蘭発の情報発信

掛橋（かけはし） 愛理（あいり）さん
札幌市生まれ

潜在的なまちの力を引き出す まちづくり活動が 室蘭には受け継がれていますね。

にぎわいを求める市民と まちづくり活動する皆さんの 連携が新しい力となる

奥村　手わざの会の人たちは、若者に古き良き「ものづくり」の伝統を伝えようと活動を続けています。室蘭は、昔から伝統を大切にしているまちという印象を持ちました。

相澤　ジャズクルーズでは若い人も年配の人も融合して、港まちにジャズを根付かせようと頑張っています。ジャズを通して、いろんな世代の人たちが交流し、新たな広がりを見せてきていると思います。

　また、夢キャンドルやカウントダウンでは、若い人たちがまちを盛り上げていこうとする熱いパワーを感じます。

掛橋　ミニFM局で地域情報を発信しているぽこいふじエンターテイメントや、白鳥大橋を渡ると結ばれるという話題を活用する白鳥大橋ハッピープロジェクトチームなど、若い人の色々な団体があります。

　若者たちの団体が、次々と現れてくることは、室蘭にまだ潜在力があるあかしでは。

涌井　私も、昨年7月に中央町アーケード街で「酔ってけ浜町」のイベントが開催された時、普段静かなアーケード街で、ビアガーデンに多くの人が集まっているのを見て驚きました。

　そういった地域の催しものがあれば、多くの市民が外に出て来て楽しむんですね。

相澤　今年の3月末に、室蘭の人口が10万人を割り寂しいイメージがある中で、懸命に室蘭を盛り上げようと頑張っている人も多い。でもせっかく、たくさんの団体、グループがあるのに、それぞれが個別に活動しているような印象があります。これからは、各団体・個人がより積極的に情報を発信し、交流して連携することが必要だと思います。そのことにより、まちづくりも大きな流れとなって広がって行くのではないでしょうか。

ジャズ・クルーズ

今年で5回目を迎える道内有数のジャズコンサート。中央ふ頭の倉庫をステージに、2,000人を超える観客が本物のジャズに酔う。今年は8月20日に開催。

スワン・フェスタ

中央ふ頭倉庫とその周辺を会場にして、花火大会、ステージショーなどのほか、「やきとり横丁」を含めた約100店の露店が出店。今年は9月3・4日に開催